

バババルーン福山神辺 自己評価結果

討議年月日: 令和 7 年 12 月 8 日

公表: 令和 8 年 2 月 1 日

事業所名 バババルーン福山神辺

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	1	2	静と動を分けて行えるよう環境設定をしている。	空間は十分あるがワンフロアなので、個別の部屋があったり気分転換に出かける工夫が必要
	2	職員の配置数は適切であるか	5	0	0	利用者の特性に合わせて人数配置を心がけている。	体調不良など以外は十分に配置されている
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	3	0	フラットな床面に仕上がっている。窓ガラスには飛散防止フィルムを設置している。	トイレは狭いがフロアまで車いすが入れる空間はある。フラットではあるが手すり等は設置されていない。身体障害のあるお子様にご利用になる場合は改善や工夫が必要。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5	0	0	日々、支援後には意見を出し合ったり、支援の工夫について話し合われている。	常に問題点をスタッフ皆で話し合い、改善点をスタッフ一人ひとりに聞いている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	0	0	保護者様からの意見やアイデアをも参考にさせていただいている。	アンケートの集計以外にも、モニタリング等で、その都度、事業所に求めることを伺っている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	0	0	毎年更新している。	開業時より毎年公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	1	0	地域の方へのアンケートの実施はないが、日々の会話の中で助言されたことを受け止め、実施している。	外部評価という設定されたものはないが、保護者や地域の方より、ご意見を頂いたときは本社報告をし会社全体で取り組んでいる。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	1	0	運動療育についての研修や身体拘束・虐待防止、権利擁護、感染症対策、日々の支援についての研修など幅広く取り組んでいる。	研修に参加できなかった職員がいた場合でも情報共有し職員全体でスキルの向上が行えるよう努めたい。

適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	0	0	少なくとも年に2回は保護者から子どもの様子や事業所への要望を伺い、スタッフ全員で改善に向けて話し合い、サービス計画に反映している	保護者の困り感をもとに現在の子どもが取り組めることをスタッフ会議で話し合い計画書を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	2	1	VABSなどを活用して適応行動を評価し、適応状況を改善するよう努めている。	VABS II やABASなどのアセスメントツールも参考にしながら評価し、支援に活用できるよう心掛けて参ります。積極的に使用していきたい。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	0	0	スタッフ全員でアイデアを出しながら作成している。	スタッフ全体で意見を出し合いながら活動を立てている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	0	0	他店舗とも意見交換し、子ども達の反応や成長も見ながら工夫している。	保護者様や児童の意見も参考にしながら、児童が楽しめる活動内容を考えている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	2	0	平日・休日・長期休暇それぞれの生活リズムや活動時間の違いを踏まえ、無理のない課題設定を行っています。	平日は子供後の利用となるため、疲労や集中力を考慮し、短時間で達成感が得られる課題を設定している。 休日や長期休暇では、活動時間が長くなることから、外出活動やクッキング、集団での協働活動などを通して、社会性や生活を養
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	0	0	個別活動では集中して取り組める環境を整え、集団活動では少人数から段階的に参加できるように配慮するなど、無理のない支援を行っています。	子どもの特性や得意・苦手、対人関係の状況に応じて、個別活動と集団活動の比重を調整しながら計画を作成しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	0	0	活動担当、全体を見る職員など事前に打ち合わせを行い、支援中も職員同士が声を掛け合いながら常に危険がないよう心掛けている。	その日の活動担当の指示のもと、スタッフ全員が協力して動いている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	0	0	支援記録に記入し、振り返り、相談、情報共有している。	送迎から帰ってきたスタッフも自然に入りやすいよう、一人ひとりの思いが発言できる環境を整えている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	0	0	支援しに携わったスタッフから話を聞き、スタッフ全員で話し合い周知する。	専門的支援実施計画書に基づき、記録を取っている。その後必要に応じて職員同士で話し合い、以後の支援に反映させている。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	0	0	判断できている。	半年ずつの保護者様とのモニタリングで児童の様子と比較して適した支援計画に変更している。	

	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	3	2	0	成功体験の積み増しを促し、自己肯定感を育めるよう努めている	5領域に沿って、利用児童に合わせた目標、環境作りを大切に支援を行っている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	0	0	会議が行われた際には児童発達管理責任者が対応している。	児童発達管理責任者が他の職員にも共有し、全体で把握できるよう努めている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5	0	0	送迎時には職員間で情報を共有し、学校側とも連携を取りながら安全な引き渡しを行っている。	トラブルや気になる出来事が生じた際には、速やかに学校・保護者へ連絡し、再発防止に向けた対応を行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	3	1	対象者がいないため、機会がない。	対象の児童がいない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	0	2	3	努めている。	現状特に問題がなければ、連携していない。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	0	3	2	対象者がいないため、機会がない。	対象の児童がいない
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	1	1	電話などで常に情報交換をしている。	必要に応じて連携している
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	3	2	地域の公園で遊んでいる子どもと鬼ごっこしたり、サッカーや野球をしたりなどの交流がある	子供たち同士が自然に関わりが持てるよう支援を行っている。平日には難しいが、長期休暇など可能な場合には積極的に機会を設けたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	1	3	1	要請があれば参加している。	地域の連絡協議会などへ参加し情報交換を行っている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	0	0	送迎時にお時間を頂き、お子様の成長や課題を共有できるように努めている。	お迎え時にお話させて頂いたり、気になれば電話でお伝えしている。

保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	0	4	1	保護者の方が相談がしたいときに、できるだけ早く対応できるように努めている。	こちらから必要と思った時や保護者様からの要望がない限り行わず、機会がない。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	0	0	行っている。	契約時や契約内容の変更時には、ご理解いただけるよう丁寧な説明を心がけます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	0	0	行っている。	すぐに対応できない場合、ミーティング等で相談内容を整理し、支援を行っている。又、LINEや電話等でも対応している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	0	5	ご要望があれば実現していきたい。	まだ機会が持っていない・保護者様も関わられるような活動も提供していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	0	0	出来るかぎり迅速に対応できるよう努めております。	迅速にスタッフ間で共有し、本社と連絡を取り協議し、業務改善に努めます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	0	0	発信している。	おたより、ブログ、インスタ、グーグルビジネスなど定期的に発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	5	0	0	注意をしている。	個人情報は施錠付き保管庫で管理し、データベースについては、各PCに暗証番号とパスワード、そして、ファイルもパスワードを付けて管理を行っております。又、個人情報は最小限の関係機関のみで共有している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	0	0	児童に対しては、わかりやすい言葉や視覚的な支援を用い、保護者様に対してはLINEや面談等を活用し、丁寧な説明を心がけています。	児童の障害特性や発達段階に応じて、写真・絵カード・スケジュール表などの視覚支援や、簡潔で具体的な声かけを行っています。また、保護者様にはLINEや送迎時の口頭説明、必要に応じて面談を実施し、情報が正確に伝わ
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	3	2	地域の方との交流が図れるよう努めている。	大道芸や子ども食堂、芋ほりなど様々な形で地域の方との交流を深めており、これからも実現できるよう連携を行っていく。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	0	0	周知している。	各種マニュアルを作成し、各種防災訓練や避難訓練を実施し、緊急時、保護者へ迅速に連絡できるように緊急連絡先を整備している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	0	0	地域の方と合同で避難訓練を行ったり、災害時対応の動画を鑑賞したり様々な形で行えるよう努めている。	月1回は避難訓練等を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	0	0	定期的に研修の機会を設け職員の意識の向上に努めている。	研修に参加している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	0	0	個別支援計画書および契約書に記載し契約時やモニタリングの際に説明を行っている。	トラブルなどがあった場合には、その日の出来事や対応、子どもの反応など保護者様に伝えるよう努めている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	0	0	対応している。	グループ企業内の管理栄養士、調理師の助言・相談を行い、対応していきます。又、必要な際には、スタッフが研修を行います。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	0	0	共有している。	ミーティングで常に情報を共有し、事故防止、予防に努めている。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。